

期待される優れた人材イメージ

他から見える活動している優れた姿

柔軟にして鷹揚、機知に富み、知をひけらかせず、束縛を自他共に許さず。
知らないことは誰彼かまわず聴き、自らの興味を満足させる。
他の人の満足を充足するために工夫と努力を惜しまない。
目的を明らかにし、すべての者の得意を持って技とし、一つに成す。

達成すべき目的は機能の一つであると知り、社会の一部極小とする。
他の機能を損なわず活かし、自らの機能を進化させる。

ステージ、職位に関わりなく、
目的の大小、職種の優劣に関わりなく、特異に専念する。

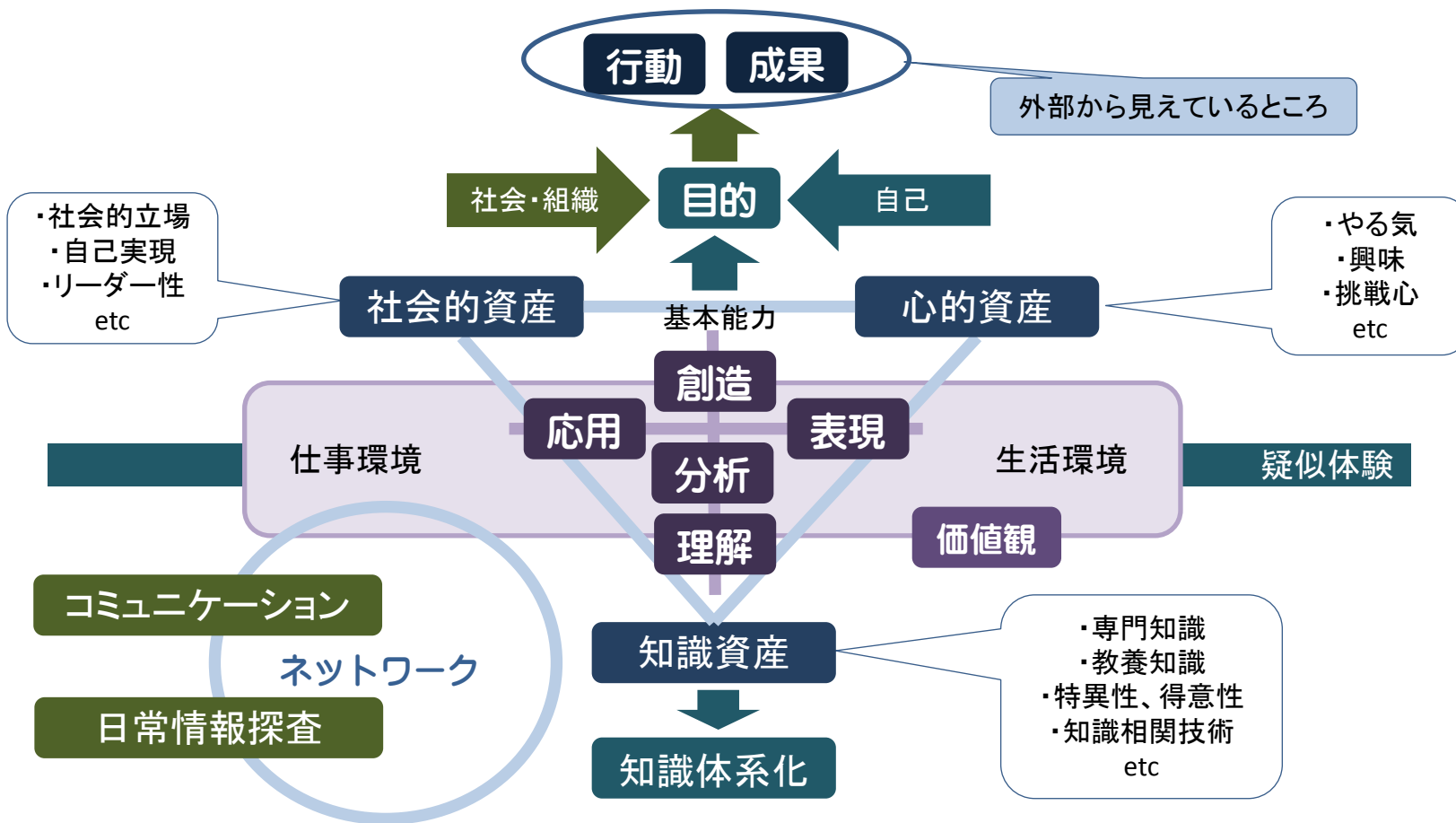
他から見えない一人で苦心、努力する姿

自らの知識・技術、観察視点が不確かであると知覚している。完成する状態はないとしている。
常により確かな視点と解を求め、学び、研究することを怠らない。失敗を警戒するが、挑戦を忘れない。

自らの否定と他を肯定し、その狭間で真理を求めようとする。

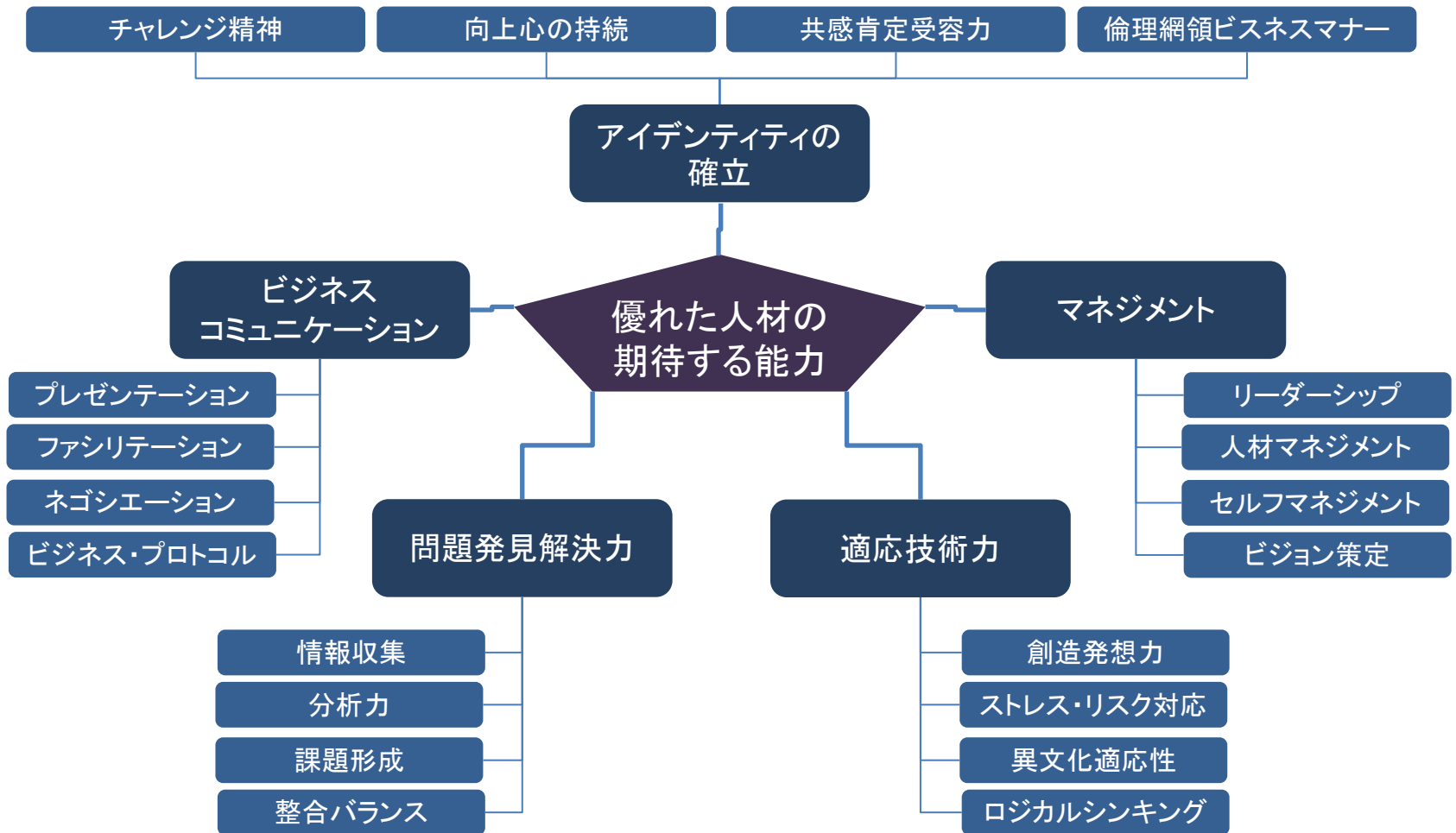
人材能力構成要素

仕事を始めて数年が過ぎると、人材としての構成要素が整ってくる。



図の中に抜けているもっとも大きな要素がある。
感情の世界である。

顕在化しやすい知識・能力を測定



人材養成 支援講座30

1コース3時間単位の並列講座

他国言語学習を除いている。

—《目標》自らを人材として—

- 01 グローバル人材を目指して
- 02 グローバル組織リーダーとしての仕事の哲学
- 03 場の創造

—自身を磨く—

- 04 5つの基本能力を高める
- 05 自身と所属する組織が卓越する条件
- 06 ミッションを見出す
- 07 自らの3つの資産を見出す

—社会との関わりを作る—

- 08 情報の受発信 — ネットワークを構築する
- 09 変化を記録する — 社会と組織と自身と
- 10 社会の状態を整理する
- 11 変革の条件と方法
- 12 日本の伝統(価値観)を認識する
- 13 バーチャル社会を活用する
- 14 社会への挑戦

—基礎教養を深める—

- 15 マネジメント基本
- 16 コミュニケーションについて
- 17 テラ・データの認識
- 18 ナレッジ・マネジメント、データマイニング
- 19 機能する組織
- 20 政治と経済の関わり
- 21 他国、他地域の文化を認識する
- 22 宗教について

—知の技術を磨く—

- 23 創造発想法
- 24 書く表現技術
- 25 思考前提条件
- 26 想定外に対処する方法
- 27 自らの知識構築の方法

—自身を表現する—

- 28 真摯さの扱い
- 29 2つノートテイキング
- 30 自分パンフ(自分の証明)を作ろう

以上の講座は3時間で完結できるように編集している。複数の講座を組み合わせる1日、2日研修などへ編集可能である。目的、受講者、活用時間に応じて編集する。本ページに挙げる内容、理論は弊社「(株)シードウィン」のオリジナルである。理論は、「人文組織工学」「7つの考える下敷き」「教育構造学」「知の技術」「文章分析《文道》」を元としている。